水産業の振興について

本町の漁業振興については、ホタテ貝養殖漁業が中心となっており、成育を阻害する付着物の処理や、廃棄物処理施設の適切な運営に努めてまいります。

▲耳吊り風景（本町地区）

漁業資源確保のため、サケのふ化放流、マツカワ種苗放流と磯根資源のウニ、アワビの種苗放流を引き続き推進し、事業効果を十分検証して実施してまいります。

漁業施設整備については、礼文漁港で老朽化が著しい上架施設の改修事業に補助し、安全で効率的な漁業施設の環境整備を推進してまいります。

漁港整備については、北海道が事業主体で進める豊浦・礼文の両漁港の長寿命化計画に基づき、漁港の補修整備を促進してまいります。

漁業経営安定にかかる漁業近代化資金をはじめ各資金の利子補給は、引き続き実施し漁家経営の安定に努めてまいります。

森林整備の振興について

▲植樹祭（桜地区）

林業については、木材需要の落ち込みによる価格低迷などから、間伐、造林事業への影響が懸念されておりますが、地球規模の環境保全の高まりにより、温暖化防止、水資源の涵養、大気の浄化など公益的機能を持つ森林の役割はますます重要になっております。このような中、本町においても、伐期を迎えた森林を適切に監理するなど、循環利用のサイクルを維持するため、町有林はもとより私有林についても、未来につなぐ森づくり推進事業などを活用し、引き続き整備してまいります。

地域林業の担い手の胆振西部森林組合に対する経営基盤強化事業を引き続き支援し、事業創出に努めてまいります。

また、鳥獣被害対策については、鳥獣被害防止対策協議会が行う活動へ国・道の事業を活用し、ハンターの免許取得時の補助を継続し、実施隊を組織して農業被害の減少に取り組むとともに、猟友会への交付金を引き続き実施してまいります。

商工業の振興について

商工業の振興については、豊浦町商工会の経営改善普及事業をはじめとする各種活動事業に必要な助成を実施してまいります。

昨年に引き続き、消費効果の高いプレミアム商品券(得･得商品券)、住宅リフォーム商品券の対象工事費を30万円以上から10万円以上の少額工事に拡大して継続実施するとともに、子育て支援事業、社会体育事業や健康づくり事業(健康づくりポイント事業)と連携して、町内の消費流出防止と購買力の向上を図ってまいります。

豊浦本町地区道道美和豊浦停車場線拡幅工事については、昨年度から浜町工区が着手されていることから、工事促進と早期完成に向けて各関係機関に強く要請してまいります。

また、神社坂の歩道設置事業については、本年度、新規事業で歩道設置工事が実施され、歩行者の安全確保と避難路としての整備が図られます。

雇用対策について

雇用対策については、景気低迷から回復傾向にあるものの、依然として厳しい雇用情勢が続く中、就労につながりにくい障がい者などの就職困難者等に対し、ハローワークなどと連携を図ってまいります。

また、季節労働者の冬期雇用対策を継続して実施してまいります。

観光産業の振興について

観光産業の振興については、本年度も本町の豊かな自然と海浜、スポーツ施設、天然温泉など、観光と物産のPR活動を札幌市および首都圏で開催の「胆